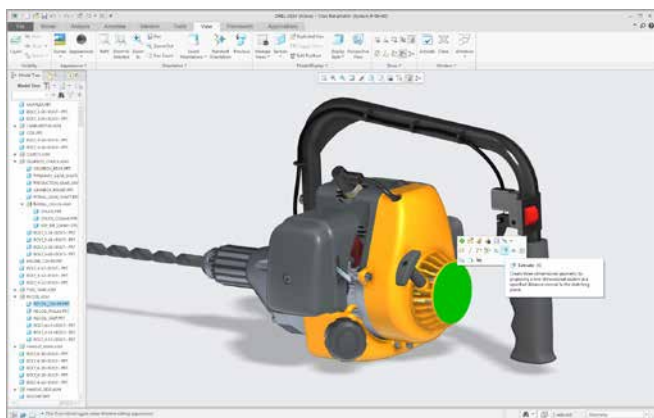


# Creo Parametric 4.0 の主な機能強化点

Creo Parametric 4.0 で、今日から先の生産性を向上させましょう。積層造形、モデルベース定義 (MBD)、スマートコネクティッドデザインの画期的な機能は言うまでもなく、数百もの主な機能強化点を追加しました。これで、優れた製品の開発に取り組む準備が整います。

## 新しいインタラクション ワークフローによる生産性の向上

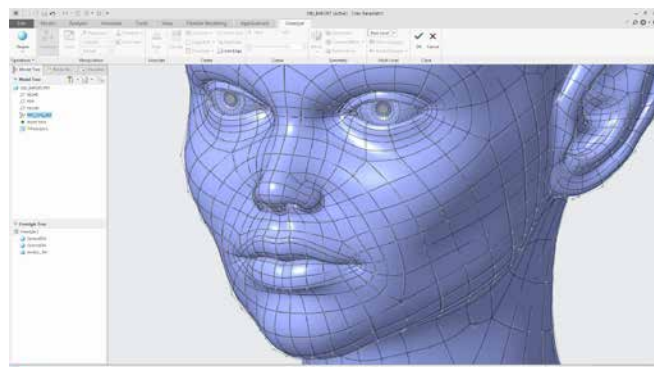
作業スピードを上げたいと考えるユーザーのために、よく使用されるコマンドを必要なときに必要な場所で使用できるように配置しました。新しいインテリジェントなミニバーでは、内容に応じたコマンドがすぐに使用できる場所にあります。モデル ツリーやリボンに移動する必要はありません。また、ツールバーをカスタマイズしたり、フルスクリーンのグラフィック領域で作業したりできます。さらに、まさに必要とするジオメトリやコンポーネントを選択できるボックス選択も導入しました。



新しいインテリジェントなミニツールバー。

## 構想設計

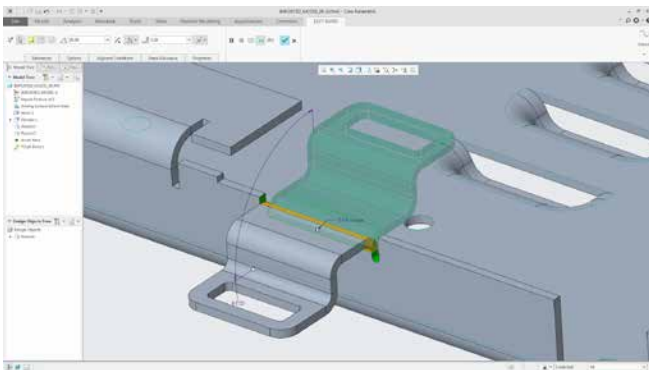
Creo の Unite テクノロジーにより、ネイティブでないジオメトリを簡単に開くことができますが、複雑なサーフェスがある場合はどうなるでしょうか。Creo Parametric の新しいフリースタイル機能を使用すれば、ほかのサブディビジョナル モデラーで作成した設計を簡単にインポートできます。インポート後、フリースタイル機能によってサブディビジョナル メッシュが再構築され、最終ジオメトリが再ビルドされて、完全に編集可能な制御メッシュが生成されます。さらに、必要に応じて詳細を追加する制御力が高まっています。



ほかのサブディビジョナル モデラーで作成されたサーフェスを簡単に転用。

## フレキシブルモデリングの機能強化点

フレキシブルモデリングを、板金にも適用できるようになりました。板金のベンド、ベンドリリース、コーナーリリース、コーナー継目、フォームを編集し、設計意図の特性を個別に、またはグローバルに手早く変更できます。板金での作業がかつてなく簡単になりました。



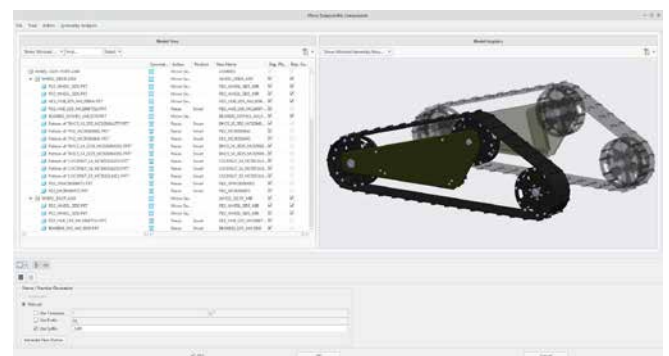
フレキシブルモデリング機能を使用して、板金部品を直接編集。

Creo の高性能な機能の1つ、フレキシブルモデリングにより、パラメトリック環境でのダイレクトモデリングが可能になります。その結果、後期段階での設計変更が簡単かつスピーディになり、インポートしたデータの編集も楽々となせるようになります。また、下流解析向けに設計を簡略化する作業には数分しか要しません」

## モデリングの機能強化点

中核的なモデリング機能が改良されました。

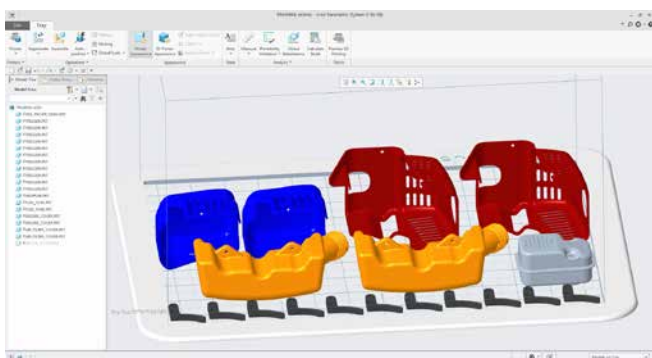
- アセンブリ用のインテリジェントなミラー。** アセンブリをミラーリングする際に、大量の重複部品を作成する必要はなくなりました。Creo は、ミラーリングが必要な部品のみを「インテリジェントに」ミラーリングし、あらゆる対称的な部品を自動的に再配置するようになりました。
- ソリッド溶接。** 溶接を、質量特性情報を持つソリッドジオメトリとして作成します。Creo Simulate はこれらの材料特性を把握し、必要な溶接の結合を自動的に作成します。
- 材料ライブラリ。** すぐに使用できる 100 種類以上の新しい材料が追加され、ワークフローの改良により、これらの材料の割り当てが以前よりも簡単になりました。
- スケッチャー。** この中核的な機能を、生産性とユーザビリティの面で大幅に改良しました。スケッチおよびスケッチエンティティの可視性の改善、既存のジオメトリへの直接スナップ、スケッチ平面でモデルをクリップする機能が追加されています。
- 進化した中核的なモデリング機能。** 穴位置の改良、ミッドプレーンの構築機能、グループでの直感的で柔軟なインタラクション、向上したフィーチャーのドラフト機能など。



インテリジェントなアセンブリミラーリングにより、不要な部品の複製を排除。

## 積層造形向けの設計 (3D プリント)

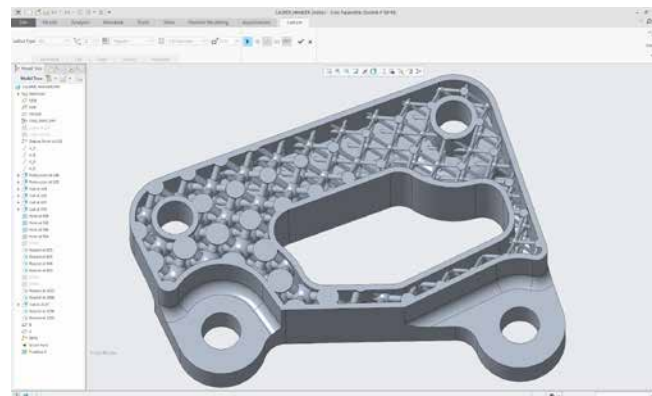
複数のソフトウェア パッケージに依存した、エラーの発生しやすい分断したプロセスはもう終わりです。Creo では、設計したものをそのままプリントできます。設計、最適化、検証、プリントのすべてに1つの環境で対処できるため、プロセスにかかる時間とエラーのリスクを全体的に削減できます。



プリント トレイを最適化して保存することで、時間とコストを節約。

新機能には以下のものがあります。

- 格子作成。** パラメトリックに制御された均等で変更可能な格子構造を作成できるようになりました。この機能をシミュレーションと組み合わせると、複数の設計要件を解決するように格子構造を最適化できます。以前は不可能であったか、コストまたは時間がかかり過ぎていたような製品を設計できます。
- 接続プリンタのサポート。** Stratasys および 3D Systems プリンタに直接接続し、構築時間と材料の使用状況を把握できます。
- プリント トレイの作成および管理。** 作業のやり直しは必要ありません。プリント ジョブを構築、追跡、検証、管理してから、保存して再利用します。複数のコンポーネントを自動配置し、ネ스팅することで、時間とコストを節約し、材料を削減できるようにプリント トレイを最適化できます。

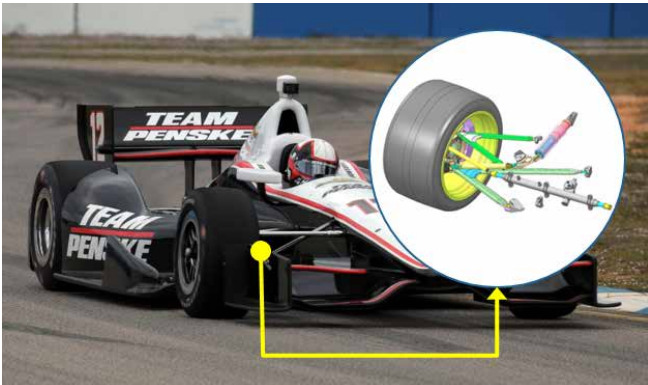


積層造形用の複雑で変更可能な格子構造を簡単に作成。

「IoT の可能性を引き出すとは、より多くの製品使用データを獲得することだけではなく、そのデータから効率的に価値を得ることです。その後、その情報を使用、微調整、解析して、推測ではなく事実に基づいて、より優れたスマートな設計を実現できます」

## スマート コネクティッド プロダクトの設計

現在では、実際のセンサーを 3D CAD モデルのデジタルセンサーに接続する接続性を考慮して設計を行うことができるため、現場での製品の使用状況を把握できます。世界をリードする IoT プラットフォーム (ThingWorx) との緊密な連携は、必要とするデータ ストリームを提供する製品を設計できることを意味します。

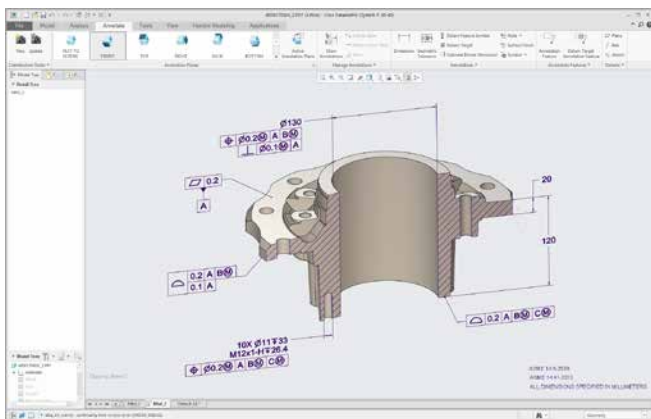


Creo Product Insight でデジタルを物理に接続。

## Creo 4.0 が MBD (モデル ベース定義) 導入の障害を排除

MBD により、製品に関する全情報が、エンジニアリングからパッケージ デザインまでに関わる全員がアクセス可能な、文書化された完全に詳細な 3D モデルに保存されます。ワークフローの改良により、完全なモデルベース定義の作成とパブリッシングが以前より簡単になります。

新しい Creo GD&T Advisor 拡張機能は、MBD 戦略の最終ステップです。Sigmatrix のパートナーと共同開発したこの拡張機能により、関連性の高い最新の標準の正しい適用に関する指示とアドバイスが得られるだけでなく、ユーザーは、完全に文書化され拘束されたモデルを確実にハンドオフできます。エンジニアリング以外の同僚と設計を共有する場合も簡単です。STEP AP242 および JT ファイル フォーマットにエクスポートするか、WYSIWYG 全体を Creo View にパブリッシングします。2D 中心のプロセスを使用する部署をサポートするために、各 3D ビューをプリントすることができます。

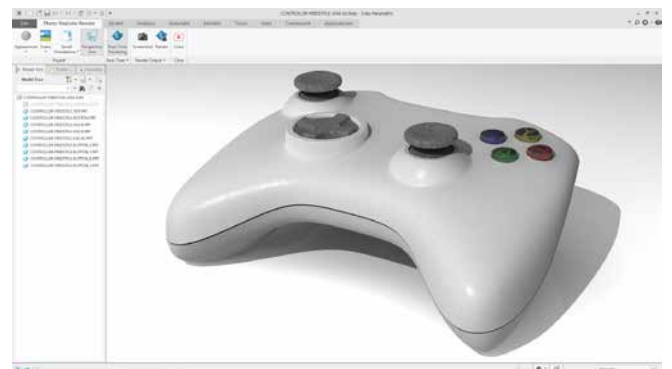


完全なアノテーションの付いた、製品のデジタル定義全体を作成。

## 設計のビジュアル エクスペリエンスがより魅力的で情報豊富に

設計レビューの準備をしているときに、複数の色やシーンで表示したいと思うことがあるかもしれません。また、パッケージングや販売促進用に、フォトリアリスティックな最高の画像を必要としているかもしれません。KeyShot® をベースにした新しい Creo Render Studio Extension なら、これらをすべて簡単に実現できます。

世界ナンバーワンの AR/VR プラットフォーム、Vuforia とのネイティブ統合を介して、拡張現実と仮想現実により CAD モデルの対応領域を広げることができます。現在では、Vuforia エクスペリエンスを Creo から直接パブリッシングできます。



KeyShot® をベースにした Creo Render Studio Extension により、フォトリアリスティックな画像が可能に。

© 2016, PTC Inc. (PTC) All rights reserved. ここに記載された情報は情報提供のみを目的としており、事前の通知なしに変更される可能性があります。また、PTC が保証、約束、提案を行うものではありません。PTC、PTC ロゴ、およびすべての PTC の製品名およびロゴは、米国およびその他の国における PTC またはその子会社、あるいはその両方の商標または登録商標です。その他の製品名または企業名はすべて、各所有者の商標または登録商標です。新製品や新機能のリリース時期は予告なく変更されることがあります。

J7934-CreoParametric4.0-JA-1016